

こうじ まさかず

# 小路正和県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

# 地元の思いの代弁者として

# 道路問題は地域の至上命題



予算委員会に登壇した小路県議

いすみ市選出の小路正和(こうじまさかず)県議は、新年度予算案を審議する2月定例会県議会で、一般質問に登壇したばかりか、その後の予算委員会でも議場の質疑に再登壇しました。小路県議は予算委では、道路問題と防災対策に絞って質問し、県執行部に早急な対応を迫りました。小路県議は自らを、経済格差をなくし、同じ豊かな生活をしていきたいという地域の思いの代弁者だと語り、南北格差の解消に向けた道路問題の解決は至上命題だと強く訴えました。

## 荻谷新田野バイパス

**小路委員** 私は、日本の縮図といわれる千葉県の郡部・いすみ市の出身であり、地元から選ばれている者として、上命題として、やはり、東

西格差、南北格差といった暮らし、経済の格差を縮めて、同じ県民として、同じ豊かな生活をしていきたいという思いの代弁者として、道路問

## 2月議会予算委員会に登壇

題は必要不可欠な問題です。

いすみ市の素晴らしい農水産物や観光資源を多くの観光客に楽しんでもらうためにも、いすみ市へアクセスする道路整備が非常に重要だと考えています。そこで伺います。国道465号荻谷新田野バイパスの進捗状況はどうか。

**道路整備課長 荻谷新田野** バイパスは、国道465号のいすみ市佐室から増田までの9.1キロのバイパスであり、用地については、圃場整備に合わせて約6割を確保しています。

整備効果や地元市の意向を踏まえ、広域農道から佐室までの5.1キロを優先的に整備することとし、これま

で地形測量や過去の設計成果を活用しながら、概略設計を行ってきたところであり、引き続き、予備設計に着手することとしています。

## 2027号「七曲がり」

**小路委員** 夷隅地域にとり、国道297号の整備も重要です。大多喜町横山

地先の現道は、幅員が狭く、急こう配のカーブが連続する区間が残っており、大型車の通行に支障となるなど、住民の日常生活にも影響が及んでいます。国道297号横山バイパスの進捗状況はどうか。

**道路整備課長 横山** バイパスは、大多喜町横山から市原市米原までの2.7キロで整備を進めており、これまでに1.1キロ区間を供用しています。残る1.6キロ区間の用地取得率は約5割となっており、現在、境界が未

には、広域農道を使いたいすみ市へのアクセス道となるバイパスが非常に重要になります。圃場整備でかなり多くの土地を準備済みだと思っております。いすみ市のみならず、外房地域にとりても大切な道路であり、早期の整備をお願いします。

確定となっている地権者との調整や、用地交渉を進めるとともに、切り土法面の詳細設計に向けた地質調査を実施しているところです。

**要望** 「七曲がり」については、拡幅により大型車が通りやすくなった部分があり、また用地取得率は約5割となり、進めていただいているところでもありますが、長期間完成していない道路であり、用地交渉が難航しているところもあると思っておりますので、それ以外のできるころから先に用地交渉を進め、整備できるところから進めていただきたい。

## 長生グリーンラインの進捗

**小路委員** 長生グリーンラインの事業中區間の進捗状況はどうか。

**県土整備部長 長生** グリーンラインについては、圏

央道の茂原長南インターチェンジから広域農道までの6.5キロで事業を行っており、これまでに圏央道側の1.5キロ区間を供用し

ています。残る5キロ区間の用地取得率は約8割となっており、用地を確保できている県道茂原大多喜線までの2.5キロ区間について、現在、令和5年度の供用を目指し、道路改良工事を実施しているところです。

**要望** 長生グリーンラインは、本県の半島性を解消し、房総半島の周遊性を向上させ、観光振興や地域の活性化を図るとともに、房総を一周する道路の実現のためにも、まずは事業中區間である広域農道までを1日も早く完成させるとともに、調査区間である一宮町までの区間について、事業化に向けて検討を加速させていただきよう望みます。

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

**小路正和 県議事務所**  
 〒298-0004 千葉県いすみ市大原8654  
 TEL・FAX 0470-62-5802

# 房総半島を自然災害から守れ!

## 一刻も早く津波対策を

**小路委員** 東日本大震災から10年を迎え、津波被害のあつた九十九里沿岸では、復興事業を問もなく終えようとしています。いすみ市域においても、地元が暮らす住民の安全・安心のためにも一刻も早く津波対策を行う必要があると考えています。

しかしながら、いすみ市域における海岸線の延長は長く、短期間で同時に津波対策が必要な地域の対策を行うことは困難だと考えます。こうした現状から、県はいすみ地域の津波対策をどのように進めようとしているのか、沿岸地域の住民にとっても番の関心事であります。そこで伺います。いすみ地域の津波対策は、どの地域から検討するのか。

**河川整備課長** 地元いすみ市からは、津波浸水想定区域や住家等の密集状況を考慮し、大原海岸日在浦地区と大原漁港周辺地区を優先したいとの意向が示され、県としてはその意向を踏まえ、当該地域から検討することとしています。

**小路委員** 今後の取り組みはどうか。  
**河川整備課長** 今後、いすみ市が開催準備を進めて



発言を求めて挙手する小路県議

新しいハザードマップは、以前と比べると、市の北部を流れる夷隅川については、浸水想定区域が広がり、また、土砂災害警戒区域も、これまで指定したものに追加、今後の指定予定地も含めて表示されたため、個所数としては

いる「海岸づくり会議」において、地域住民や関係団体の意見を聞きながら、県と市が連携し、海岸堤防のかさ上げや避難体制の整備など、ハード・ソフトの両面から津波対策を検討してまい

## 新ハザードマップ

**小路委員** 県は昨年5月までに、ハザードマップの基

本情報となる想定最大規模の降雨による浸水想定区域図を公表し、それをもとに、昨年8月に私の地元はいすみ市はハザードマップを更新し、市民に配布したところです。

**河川環境課長** 県では、水位周知河川の浸水想定区域図を、その支川も含め、流域全体として一体的に作成し、公表しています。

いすみ市内の県管理河川は7河川あり、このうち水位周知河川である夷隅川と支川4河川について、令和2年5月に公表しています。

**小路委員** 浸水想定区域図が未作成となっている塩田川

ります。  
**要望** 海岸づくり会議に ついては、県でもご指導いただき、「観光」「産業」「防災」のいろいろな意見を吸い上げて集約してほしい。ただ単に津波対策をハードでやるのではなく、いろいろなことを複合して、夢のあるような計画を創造していただきたい。

増えましたが、土砂災害に対するリスクは、しっかりと表示されています。

その一方で、市内中心部を流れる2級河川である塩田川については、浸水想定区域が表示されていません。そこで伺います。いすみ市内の県管理河川における洪水浸水想定区域図の公表状況はどうか。

令和元年度、房総半島台風をはじめとする災害では、長期にわたる停電や断水により、県民生活に大変な不便が生じました。こうした教訓を踏まえ、千葉県としても「フェーズフリー」の観点に立って、県民への啓発や県の防災対策に積極的に取り組んでいくべきと考えます。

そこで伺います。「フェーズフリー」について、県はどのように認識しているのか。

**小路委員** 「フェーズフリー」については、県はどの

などの作成見込みはどうか。  
**河川環境課長** 塩田川及び、その支川の新田川の2河川については、国が策定した小規模河川の氾濫推定図作成の「手引き」に基づいて、来年度に氾濫推定図を作成します。

## 「フェーズフリー」を提案

**小路委員** 「フェーズフリー」とは、普段から利用しているものを、災害時にも有効に役に立てられることだと言えます。

身近な例で言えば、プラグイン・ハイブリット車がありますが、普段は低燃費で環境に優しい自動車でありながら、災害時には発電機や蓄電池として使用することで、住宅に電気を供給することができると言えます。

令和元年度、房総半島台風をはじめとする災害では、長期にわたる停電や断水により、県民生活に大変な不便が生じました。こうした教訓を踏まえ、千葉県としても「フェーズフリー」の観点に立って、県民への啓発や県の防災対策に積極的に取り組んでいくべきと考えます。

そこで伺います。「フェーズフリー」について、県はどのように認識しているのか。

**小路委員** 「フェーズフリー」については、県はどの

範囲で大雨になった令和2年7月豪雨、本県においても昨年10月25日の記録的な大雨など近年、毎年のように水害が発生しています。河川の堤防整備などハード対策を進めることももちろんですが、住民がハザードマップを事前に確認し、

## 防災危機管理部長

**防災危機管理部長** フェーズフリーの視点を取り入れ、防災物資の備蓄や、災害時における施設の利用方法を検討することは、災害対応力の向上を図る上で、有効であると考えています。

**小路委員** 「フェーズフリー」について、県としての取り組みはどうか。  
**防災政策課長** 県におけるフェーズフリーの取り組みについて申し上げます。

フェーズフリーの取り組みについて申し上げます。

フェーズフリーの取り組みについて申し上げます。

フェーズフリーの取り組みについて申し上げます。

フェーズフリーの取り組みについて申し上げます。

フェーズフリーの取り組みについて申し上げます。

フェーズフリーの取り組みについて申し上げます。

災害時にはしっかりと逃げるといったソフト対策も急務です。現行のハザードマップから水害リスク情報の空白域を速やかに解消するためにも、早期に氾濫推定図を作成し、いすみ市に情報提供することを要望します。

## 千葉県は、海や川

**千葉県は、海や川**に囲まれ、津波対策等いろいろなことが想定されるリスクの高い県だと思

います。今後は防災先進県として、フェーズフリーの考え方是非常に有効だと思

いますので、災害に強い千葉県づくりの視点から、フェーズフリーを広めていただく

ことを、切実に要望します。

ことを、切実に要望します。

ことを、切実に要望します。

ことを、切実に要望します。

ことを、切実に要望します。



自席で答弁を聞く小路県議

## 防災対策で集中質疑に挑む